

洪水／高潮ハザードマップ索引図



写真提供: 加古川市

洪水 (想定最大規模降雨)

想定最大規模降雨とは、各河川において1/1000年確率規模以上(1年の間に発生する確率が1/1000以下)になるよう設定した降雨のことです。掲載の洪水浸水想定区域は、以下の雨が降った場合に、想定される浸水の範囲や深さを示したものです。(兵庫県洪水浸水想定区域図 令和元年8月公表)

- 加古川水系下流圏域の48時間流域平均総雨量750mm
- 喜瀬川流域の12時間流域平均総雨量551mm

家屋倒壊等氾濫想定区域とは、河川の氾濫や河岸侵食により家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものです。
※早期の立ち退き避難が必要な区域です。

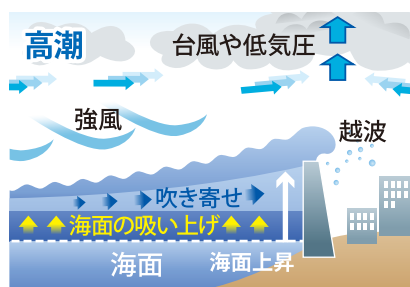


降った雨が水路や下水道(雨水)などで排水しきれなくなることにより起こる氾濫です。



川の堤防が壊れたり、堤防から水があふれたりして発生する氾濫です。

高潮



高潮は、気圧の低下や風の吹き寄せによって海面が上昇し、発生します。満潮時と重なると広い範囲で浸水するおそれがあります。

P.15～P.20には、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が海岸や河川から発生した場合に、浸水が想定される区域、想定される浸水の深さを掲載しています。想定し得る最大規模の高潮とは、日本に接近した既往最大規模の台風(室戸台風規模:中心気圧910hPa)が、満潮時に潮位偏差が最大となる経路を通過した場合に発生し得る高潮を想定しています。また、高潮と同時に河川の洪水を想定するとともに、堤防等の全ての防護施設が設計条件に達した段階で破壊することを基本とするなど最悪の事態を想定しています。(兵庫県高潮浸水想定区域図 令和2年8月公表)



写真提供: 芦屋市